

# 4月8日 スーパームーンが見れます！

(4月7日から8日にかけての満月は、今年見える満月のうちで最も大きな「スーパームーン」となる)

## 【スーパームーンとは】

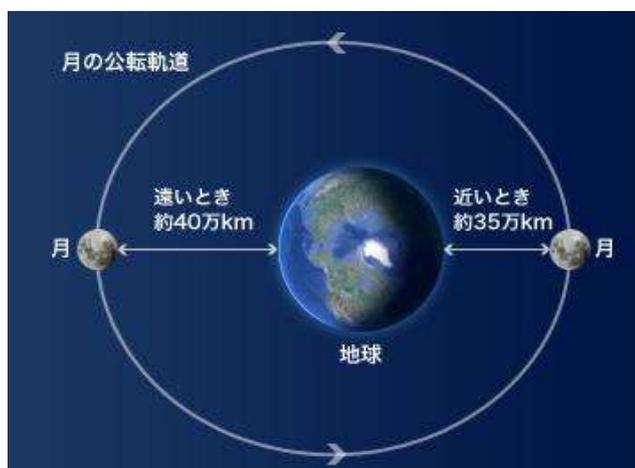
満月または新月と、楕円軌道における月の地球への最接近が重なることにより、地球から見た月の円盤が最大に見えることである。

今年の場合、8日の未明3時9分ごろに月が地球に約35.7万kmまで最接近し、約8時間半後の11時35分ごろにちょうど満月となる。つまり「7日の宵から8日明け方」にかけての満月がスーパームーンとして、観測が可能である。

○地球から月までの距離は、楕円軌道であるために、

最も近い時：約35万7000km、最も遠い時：約40万6000kmまで変化する(下左図)

○スーパームーンでは最も遠い時の月に比べて、明るさで30%、大きさを14~15%増(下右図)



## 【おすすめ】

おすすめは月が出始めた直後が見頃だと思います。なぜなら、見慣れた景色と月の大きさの比較がしやすいからです。毎日見ている街中の建物の横だったり、地元の山だったりとか、誰でも見慣れた景色があります。その、焼き付いている程見慣れた対象物の近くに、明らかにいつもより大きい満月が出ていたら…。月の出の時刻を確認して観てみてください。感動すること間違いなし！

	月の出	方位[°]	南中	高度[°]	月の入り	方位[°]	※月齢[日]
7日	17:37	88.2	23:53	55.7	5:23	275.5	13.7
8日	18:49	96.0	--:--	----	6:00	268.0	14.7
9日	20:01	103.3	0:47	49.3	6:37	260.5	15.7

※「月齢」は、月の満ち欠けの状態を知るための目安になる数字で、新月から何日経過したかを表しています。新月を0として、翌日が1、翌々日が2、・・・と、1日に1ずつ数を増やしていきます。月齢の数値を見ることによって、月齢が7前後であれば上弦、15前後であれば満月、22前後であれば下弦、30に近い数字であれば次の新月に近い、ということを知ることができます。月の動きは複雑なため、厳密にいうと、月齢と満ち欠けの状態が完全には一致しないのですが、かなりよい目安になります。

(国立天文台ホームページより)

- 【参考】
- ・ アストロアーツ [https://www.astroarts.co.jp/article/hl/a/11142\\_ph200408](https://www.astroarts.co.jp/article/hl/a/11142_ph200408)
  - ・ 国立天文台(NAOJ) <https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2020/04-topics01.html>

